

農林水産省主催「第7回食育活動表彰」

乾物を使った食育授業が評価、『消費・安全局長賞』を受賞

株式会社日本アクセス（所在地：東京都品川区、代表取締役社長 社長執行役員 CEO：服部 真也、以下「当社」）は、農林水産省が主催する「第7回食育活動表彰」教育関係者・事業者部門において当社が取り組む食育授業が評価され『消費・安全局長賞』を受賞いたしました。



乾物を使った食育授業。海苔の3種類食べ比べときざみのり作り（左）麩ラスク作り（右）

当社は、食に携わる企業として、「心に届く、美味しさを“まもる・つなぐ・つくる”ことを通じて、働きがい高め、個々の力を結集することで、人と食の未来への架け橋となる」ことを企業理念に掲げ、本業を通じた、食品ロス削減への取り組みや CO2 排出削減への取り組み、社会貢献などのサステナビリティ活動を推進しています。

小学生を対象とした食育授業も、当社の強みでもある「乾物」をテーマに毎年継続して行っている社会貢献活動の一つです。食育授業を通じて、次代を担う子どもたちに「食」の大切さと日本の伝統食材である「乾物」を知ってもらうこと、将来に向けてエシカル消費の担い手になってもらいたいとの思いから授業を行っています。

これからも当社は、持続可能な社会を目指してサステナビリティ活動を推進してまいります。

【参考】日本アクセスの乾物を使った食育授業の実施事例

- [2022.12.06 品川区で食育授業を開催、テーマは「乾物」と「海苔」](#)

[小学生が麩ラスク作り、海苔の食べ比べなどを体験](#)

- [2022.12.22 大阪で食育授業を初開催 高槻市・吹田市の小学生 254 人が参加](#)

■「第7回食育活動表彰」概要

(農林水産省ホームページより：<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/hyousyo/7th/result.html>)

食育を推進するためには、農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動、教育活動又はボランティア活動を通じて、食育の推進に取り組む者（以下「食育関係者」という。）による取り組みが全国で幅広く行われることが重要です。

このため、食育関係者を対象として、その功績を称えるとともに、その取り組みの内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取り組みが全国に展開していくことを目的として表彰を行います。

【実施主体】主催：農林水産省／運営：第7回食育活動表彰運営事務局

【後援】内閣府、消費者庁、文部科学省、厚生労働省

【表彰式】令和5年6月24日（土）第18回食育推進全国大会（予定）

会場：富山産業展示館（富山県富山市）

以上